

「民間放送ガバナンス指針」に基づく公表事項

BSフジは、「日本全国をカバー・エリアとする放送局であること、そして『人』を基盤とする企業体であることの自覚を持ち、放送および関連事業を通じて、誰もが尊重され、心身ともに健やかで平和な生活を送ることができる社会の実現をめざす。そしてその実現にあたり、人権とコンプライアンスを重視する。」という企業理念のもと、基幹放送としての公共的使命を認識し、その社会的責任を果たすために放送事業に取り組んでいます。

当社では、一般社団法人日本民間放送連盟が策定した「民間放送ガバナンス指針」に沿って、下記の取り組みを行っています。

「民間放送ガバナンス指針」①公共性の発揮

<基本原則>

- (1) 国民共有の財産である電波を預かって事業を展開していることを自覚し、公共の福祉の実現に寄与する
- (2) 公正な報道を旨として、知る権利にこたえて健全な民主主義の発展に貢献する。
- (3) 放送法で求められている災害放送や視聴覚障害者向け放送を実施する。
- (4) 民間放送は、地域ジャーナリズムの担い手、地域の情報・文化センターとしての機能を果たす。

■当社の取り組み

◇経営方針・行動指針

当社は、上記企業理念に基づき、基幹放送の公共的使命を認識し、正確で迅速な報道、健全な娯楽、良質な教育・教養等の 多様な番組を全国に届けること等を掲げた「経営方針」、放送人として、公共性と倫理を重んじ、正確・公平な情報を誠実に届けること等を掲げた「行動指針」を実践しています。

当社の「企業理念」「経営方針」「行動指針」は下記サイトをご参照ください。

<https://www.bsfuji.tv/top/info/philosophy.html>

なお、当社の親会社である株式会社フジ・メディア・ホールディングス(以下「FMH」)では、本年 5 月に公表した中期経営計画「Group Vision 2026-2030 Ver.1.0」において、FMH グループ全体の経営ビジョンとして、「好きでつながる明日をともに」を掲げました。

「FMH グループビジョン」は下記サイトをご参照ください。

[groupvision2026-2030 Ver1.pdf](#)

◇番組基準

当社は、放送の公共的使命と社会的責任を深く認識し、地球に暮らす全ての人が心身ともに健やかで平和な生活を享受できる世界の実現につとめます。

そして、BS放送が日本全国をエリアとする広域放送であり、基幹メディアであることの自覚をもとに放送番組を編成します。編成に当たっては、下記の基本方針に基づくとともに、具体的基準については日本民間放送連盟の放送基準に準拠します。

当社の「番組基準」「基本方針」は下記サイトをご参照ください。

https://www.bsfuji.tv/top/info/program_standard.html

◇主な自主制作番組・番組種別

当社の「2025年10月から2026年3月の放送番組の種別と放送時間量」は下記サイトをご参照ください。

https://www.bsfuji.tv/top/info/company_shubetsu.html

また、「2026年4月からの基本番組の種別」は下記サイトをご参照ください。

https://www.bsfuji.tv/top/info/pdf/ncinfo_202604_4k.pdf

◇公正な報道を旨として、知る権利にこたえて健全な民主主義の発展に貢献する実績

毎週月曜から金曜の20時より『BSフジLIVE プライムニュース』を生放送しています。政治、経済、国際情勢、社会問題など、その時々に関心の高くテーマを取り上げ、当事者や有識者、専門家など多様な出演者による議論を通じて論点を整理し、多角的な視点から情報を提供しています。さらに、放送に加えて配信にも対応することで、幅広い視聴者が重要な社会課題や公共的なテーマにアクセスできる環境を整えています。情報が多様化する現代において、ニュースの背景や論点を十分な時間を割いて丁寧に伝え、視聴者の知る機会を支えるとともに、社会における建設的な議論や理解の深化に貢献しています。

また、毎週土曜日18時から『プライムどようび』を生放送しています。人気ニュースサイト「FNNプライムオンライン」と連動し、国内外の最新ニュースに加え、この1週間に起きた重要な出来事を分かりやすく整理してお届けしています。忙しい日々の中で見逃しがちなニュースや社会の動きを振り返る機会を提供するとともに、多様な情報の中から重要なポイントを分かりやすく伝えることで、視聴者の理解促進と情報収集を支えています。

◇災害報道

災害発生時には、視聴者の皆さまへ信頼性の高い情報を迅速にお届けできる体制を整えています。フジテレビ地上波の報道特別番組と連携し、正確でタイムリーな災害情報を常に提供いたします。

また、株式会社ウェザーニューズと24時間体制で専用回線を接続し、平常時から緊密な情報連携を実施しています。

緊急時には放送画面を速やかにウェザーニューズチャンネルへ切り替え、気象・災害情報を継続的にお届けできる運用体制も構築しています。

◇字幕放送

情報アクセシビリティの大切さを念頭に置き、ユニバーサルサービスに取り組んでいます。

字幕放送をしている自社制作番組は下記の通りです。

『クイズ！脳ベル SHOW』

『わがまち散歩』

『プロ野球レジェン堂』

『華丸大吉が行く！大人もハマる神授業』

『飯島直子の今夜一杯いっちゃう？』

『所さんの世田谷ベース』

『ニッポン美景めぐり』

その他、字幕放送をしている番組に関しては下記サイトをご参照ください。

<https://www.bsfuji.tv/top/timetable/index.html>

◇地域の文化や経済、スポーツの振興に資する事業の開催実績

日本全国がカバー・エリアであるという強みを生かして、特徴的な地域文化や、多種多様な競技スポーツを全国の皆さまにお届けすることで、その魅力の発信や振興に努めています。また、各種スポーツイベントの開催を通じて、次世代支援や社会貢献に継続的に取り組んでいます。

・『トニふる～トニセンのふるさと応援隊～』（2026年8月放送）では、ふるさと納税を通じた地域振興をテーマに、20th Century の3人が日本各地を訪れ、返礼品を入り口に、その土地ならではの特産品や産業、文化、地域で活躍する人々の取り組みを紹介しています。現地取材を通じて、地域の産業や文化、人々の思いを全国に発信し、地域の活性化を応援しています。

・日本が誇る世界遺産（自然遺産・文化遺産）の価値と魅力を、美しい映像表現と分かりやすい解説によって、幅広い視聴者の皆さまへお届けしている『日本遺産物語』シリーズでは、これまでに、屋久島、白神山地などの自然遺産や、厳島神社、熊野古道、石見銀山などの文化遺産を取り上げました。それぞれの遺産が有する歴史的・文化的価値や、人々の暮らしの中で受け継がれてきた物語に焦点を当て、日本文化の多様性と奥深さを全国へ発信しています。

・『Volleyball Channel』（2026年7月放送）では、ビーチバレーボールに挑む若手選手の競技に懸ける思いや、成長を支える家族・周囲の人々との歩みを紹介することでスポーツの魅力を伝えるとともに、次世代支援の一助となるよう力を入れています。

・『日本プロゴルフ選手権大会』（2026年5月放送）や『BMW 日本ゴルフツアー選手権 森ビルカップ』（2026年6月放送）などのゴルフ中継では、競技の魅力に加え、開催地域の特産品や文化、地域

の子どもたちとプロゴルファーとの交流なども紹介し大会と地域とのつながりを伝え、スポーツを通じた地域の魅力発信に努めています。

・「第3回 パンパシフィック大学ゴルフスーパーリーグ」(2026年9月放送)では、国内外の大学ゴルフチームによる国際大会を放送。世界を目指す学生ゴルファーの真剣勝負やチームで戦う姿を伝え、アマチュアスポーツの振興や次世代の選手育成、スポーツを通じた国際交流を応援しています。

・スポーツイベントとしては、一般社団法人国際ジュニアゴルフ育成協会(IJGA)と当社が、ジュニアゴルファーの強化と育成を目的として2010年10月に始めた「世界ジュニアゴルフ選手権」を毎年開催し、ゴルフの活動を通じて子どもの健全な育成のサポート、及び生涯スポーツ社会の実現や国際交流を目的とした事業を行っています。

2026年2月21日～4月26日「日本代表選抜大会」 ※延べ参加選手数 1,507 名

2026年7月7日～9日「決勝大会(アメリカ)」 ※参加選手数44名

以上のとおり、「公共性の発揮」について、遵守しております。

「民間放送ガバナンス指針」②人権尊重の徹底

<基本原則>

- (1)事業活動全般において人権尊重を徹底する。
- (2)人権が尊重される社内体制を構築して、継続的に改善を行う。

■当社の取り組み

◇人権尊重のために講じている措置

・当社は、FMH の一員であることを常に意識し、FMHグループ人権方針を社内周知・徹底し、その遵守に努めています。

「フジ・メディア・ホールディングス グループ人権方針」は下記サイトをご参照ください。

<https://www.fujimediahd.co.jp/sustainability/hrp.html>

・当社は「コンプライアンス規程」等、人権に関する社内規程やガイドラインを作成し、これに基づき社内体制の整備等を行い、法令遵守の実効性の確保を図っています。

◇相談窓口の設置

全ての従業員が安心して働ける職場環境を整えるために、社内・社外に各種相談窓口を設置しています。(コンプライアンス相談窓口、人事相談窓口、FMH グループ通報窓口、ハラスメントホットライン、就活ハラスメント相談窓口)

◇人権尊重に関する教育・研修

・社内で働くあらゆる従業員に対し、人権侵害を未然に防ぐべく、理解促進のための研修を実施しています。

・「ハラスメント防止研修」や「Diversity(多様性)・Equity(公平性)・Inclusion(包括性)の基礎知識研修」を実施し、当社で働くうえで必要な人権意識についての教育機会を設けています。今年度も同様の研修を予定しており、継続的にハラスメント防止に対する意識の醸成に努めます。

◇職場アンケートの実施

働く環境の実態を把握し、組織課題を可視化するために、過去3回に渡り全従業員(社員、及び派遣社員、業務委託等のスタッフ)に対して「職場環境に関するアンケート調査」を実施、約8割からの回答がありました。集約した調査回答を分析し、組織運営やより良い職場環境づくりに生かしています。

以上のとおり、「人権尊重の徹底」について、遵守しております。

「民間放送ガバナンス指針」③法令や社会規範の遵守

<基本原則>

- (1)高い公共性が期待される放送事業者として、法令や社会規範を遵守する。
- (2)役員・社員は高い倫理観と職業意識を養い、公正で透明な事業活動を行う。

■当社の取り組み

◇コンプライアンス等・個人情報管理委員会の設置

定例で委員会を開催し、定例会議での情報共有や討議を通じて、コンプライアンス関連の問題点や課題点を解決し、全社的なコンプライアンス意識の向上を図っています。

◇法令遵守や放送事業に関わる法令に関する教育・研修

キャリアアップトレーニングの一環として、「労務管理の重要性」や「契約・下請法・フリーランス新法の基礎」に関する研修を実施しました。また、日本民間放送連盟から講師をお招きし、「放送倫理の考え方と放送基準をめぐる諸問題について」をテーマにセミナーを実施するなど、従業員の知識習得、倫理意識向上を目的とした研修に取り組んでいます。

◇SDGsに関する取り組み

平原綾香氏が音楽を通じて社会貢献や様々な支援をするために2015年に設立したチャリティーコンサート「平原綾香 Jupiter 基金 My Best Friends Concert～顔晴れ(がんばれ)こどもたち～with Orchestra」に賛同し、主催しました(2026年2月21日開催)。

・2019年11月に、日本国内のBS民間放送局として初めて「SDGメディア・コンパクト」に署名し、さまざまな番組やイベントを通じてCSR活動に取り組んでいます。

当社の「SDGsの取り組みについて」は下記サイトをご参照ください。

<https://www.bsfuji.tv/top/info/sdgs.html>

・FMH各社と連携した「楽しくアクション！SDGs」に取り組み、「楽しく伝えること」をコンセプトに、その精神を全国の皆様にお届けしています。

「楽しくアクション！SDGs」は下記サイトをご参照ください。

https://www.fujimediahd.co.jp/sdgs/enjoyaction_sdgs/

◇男性社員の育児休業・育児目的の休暇取得

2025年度の男性社員の育児休業・育児目的の休暇取得率は80%(子が出生した男性社員 5 名、うち 4 名が取得)で、取得しやすい職場環境づくりに努めています。

◇女性活躍推進

2025年度の役員、及び管理的地位にある者に占める女性の割合は 27.8%で、女性の活躍を推進するとともに、当社で働く全ての人の能力発揮に努めています。

以上のとおり、「法令や社会規範」について、遵守しております。

「民間放送ガバナンス指針」④透明性の向上

<基本原則>

- (1) 社会全体がステークホルダーであるという放送事業の性格を踏まえて、企業経営にかかわる諸情報(企業理念、役員の構成、基本的な財務情報など)の積極的な開示を行い、透明性を向上する。
- (2) 自律が独善に陥らないように、幅広いステークホルダー(視聴者・リスナー、広告主、取引先、従業員、地域社会など)との対話の回路を強化する。

■当社の情報・取り組み

取締役会による監督に加え、社外役員(取締役)、及び監査役を登用することにより、より透明性が高くガバナンスが機能する体制を構築しています。(2026年8月現在)

企業理念	BSフジは、日本全国をカバー・エリアとする放送局であること、そして「人」を基盤とする企業体であることの自覚を持ち、放送および関連事業を通じて、誰もが尊重され、心身ともに健やかで平和な生活を送ることができる社会の実現をめざします。そしてその実現にあたり、人権とコンプライアンスを重視します。(再掲)
資本構成	資本金 62 億円 発行済株式総数 70 万株
主要株主	株式会社フジ・メディア・ホールディングス(100%)
役員構成	代表取締役社長 小川 晋一 取締役(営業担当) 有田 晃之 取締役(経営管理、技術担当) 梅川 修三 取締役(総務、人事、コンプライアンス、番組審議会、コンテンツ事業担当) 臼井 裕詞 取締役(編成、報道、広報、マーケティング担当) 菅野 達也 取締役(非常勤)(株式会社フジテレビジョン 執行役員 報道担当 報道局長) 川野 友裕 取締役(非常勤)(東宝株式会社 取締役 専務執行役員) 市川 南 取締役(非常勤)(株式会社電通 代表取締役 副社長執行役員) 永井 聖士 監査役 西淵 憲司
役職員数	役員 9 人(男性 9 人(100%)、女性 0 人(0%)) 職員 81 人(男性 50 人(62%)、女性 31 人(38%))
番組審議会委員	音 好宏 委員長/上智大学 教授 三屋 裕子 副委員長/(公財)日本オリンピック委員会 副会長 加藤 義人 (株)テレビマンユニオン 副会長 三田 寛子 女優・タレント 菊間 千乃 弁護士法人松尾総合法律事務所 代表社員弁護士 先崎 彰容 社会構想大学院大学 教授 海老沢 類 (株)産業経済新聞社 編集局文化部長
自社批評番組	現在、自社批評番組はありませんが、番組審議会では検証・批評をしており、その議事内容をホームページで公開しております。

財務情報	【貸借対照表】(2026年3月31日現在)(単位 千円)	
	≪資産の部≫	
	流動資産	25,439,443
	固定資産	2,269,288
	資産合計	27,708,732
	≪負債の部≫	
	流動負債	2,308,383
	固定負債	714,945
	負債合計	3,023,328
	≪純資産の部≫	
	株主資本	24,685,403
	資本金	6,200,000
	資本剰余金	2,114,124
	利益剰余金	16,371,278
	純資産合計	24,685,403
	負債・純資産合計	27,708,732
	【損益計算書】(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)(単位 千円)	
	売上高	13,598,877
	営業利益	2,196,041
	経常利益	2,351,689
	税引前当期純利益	1,689,067
	当期純利益	1,179,885

◇新卒採用の状況

2024年 男性 3 名、女性 1 名

2025年 男性 1 名、女性 2 名

2026年 男性 2 名

また、2023年からの2025年までの新卒採用者の定着率は100%です。

◇ステークホルダーからの意見の聴取と施策改善の活用

視聴者センターを設置し、視聴者からのお問い合わせやご意見を受け付けています。また、その内容について、毎日全社員に共有し、改善点等は都度対応しています。

当社への「ご意見・ご感想」は下記サイトをご参照ください。

<https://www.bsfuji.tv/top/voice/index.html>

以上のとおり、「透明性の向上」について、遵守しております。

「民間放送ガバナンス指針」⑤適切な経営体制の確立

<基本原則>

(1)取締役会は、株主からの負託にこたえて、関係者との取引関係も含めて適切な事業運営が行われるように業務執行を監督する。直接の業務執行を行わない社外取締役や監査役の役割は、特に重要である。

(2)ガバナンス不全が疑われる重大な事案が発生した場合に、会員社の代表者は情報開示に努めるとともに、信頼回復に向けた施策を積極的に講じる。

■当社の取り組み

◇取締役会の開催状況、出席率

開催日	出席者	出席率
2026年7月31日(金)	取締役 7 名、監査役 1 名	89%
2026年6月19日(金)	取締役 8 名、監査役 1 名	100%
2026年5月29日(金)	取締役 8 名、監査役 1 名	90%
2026年4月24日(金)	取締役 9 名、監査役 1 名	100%
2026年3月27日(金)	取締役 8 名、監査役 1 名	90%
2026年2月27日(金)	取締役 9 名、監査役 1 名	100%
2026年1月30日(金)	取締役 9 名、監査役 1 名	100%
2025年11月28日(金)	取締役 9 名、監査役 1 名	100%
2025年10月31日(金)	取締役 9 名、監査役 2 名	100%
2025年9月26日(金)	取締役 9 名、監査役 2 名	100%

◇番組審議会の開催状況、出席率

開催日	出席委員	出席率
2026年7月8日(水)	6 名(委員総数 7 名)	86%
2026年4月8日(水)	7 名(委員総数 7 名)	100%
2026年1月7日(水)	7 名(委員総数 7 名)	100%
2025年10月8日(水)	7 名(委員総数 7 名)	100%

◇監査役と内部監査担当の連携による監査体制

監査役と内部監査の実施内容等について協議し、適切なガバナンスが実施されているかの確認を実施しています。

以上のとおり、「適切な経営体制の確立」について、遵守しております。